

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社SOL Holdings

上場取引所 東

コード番号 6636 URL <http://www.sol-hd.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮嶋 淳

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 田口 伸之介

TEL 044-738-3939

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,100	21.5	△457	—	△617	—	△447	—
25年3月期第3四半期	905	△18.9	△367	—	△383	—	△248	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △443百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △247百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△62.76	—
25年3月期第3四半期	△84.79	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	2,438		2,020		82.8	
25年3月期	1,371		662		48.2	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,020百万円 25年3月期 661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,502	13.7	△519	—	△683	—	△542	—	△97.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社 上武  
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. (1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	10,372,410 株	25年3月期	3,310,230 株
----------	--------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	167,490 株	25年3月期	167,490 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,125,757 株	25年3月期3Q	2,928,700 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して上記の株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり10株の割合で株式分割を行っております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業的前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、アベノミクスを背景に株高・円安が定着し、輸出関連企業の業績改善や個人消費の持ち直し等景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画として「SWアクションプラン2014-2016」を掲げ、既存事業である半導体関連事業の再構築を行うとともに、新たな収益基盤として、エネルギー作物であるスーパーソルガムの種子の販売、その搾汁液を活用したバイオエタノール、液糖プラント事業、搾り滓を活用したバイオマス発電事業及びサイレージ(家畜用乳酸発酵飼料)事業など、安定的な利益を創出できる企業を目指し、バイオ燃料事業の立ち上げに取り組んでおります。

バイオ燃料事業におきましては、インドネシアにて、インドネシアの大統領直轄機関である「インドネシア科学院(LIPI)」と共同で実施してまいりましたスーパーソルガム栽培実証実験で年間収穫量430トン記録したこと、スーパーソルガムの種子販売、栽培技術支援等、本格的な商業フェーズへの移行に取り組んでおります。また、株式会社サミラナ・スーリヤ・セメスタとの間でインドネシアにおけるスーパーソルガム種子を活用したバイオマス発電プラント、ソルガム糖液プラント及びバイオエタノールプラントの建設並びにソルガム農場の事業化に係るジョイントベンチャー契約を締結し事業化を推進しております。

インドネシア以外でも、メキシコにおいては、アルフェール社という大規模農業法人と液糖用スーパーソルガムの栽培及びその搾り滓をサイレージ(家畜用乳酸発酵飼料)として販売することを前提に商用栽培実験を開始しております。

また、オーストラリアのクイーンズランド州においては、スーパーソルガムのデモンストレーション栽培を開始し、新たな顧客及びパートナー企業の開拓を行ってまいります。

さらに、ベトナムやカンボジアなどでもスーパーソルガム試験栽培の実施を推進するとともに、商用化事業展開に向けて積極的に取り組んでおります。

半導体関連事業におきましては、従来より特定大手取引先への依存度を下げべく、新規顧客の拡大に向け当社グループの技術を集約したプラットフォームを生かした製品の販売に努めるとともに、コストの削減に努めておりますが、各メーカーの設備投資の手控えが未だ継続しており、本格的な回復には至らず厳しい状況で推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は11億円(前年同期比21.5%増)、損益につきましては、半導体製造事業において、想定していた一部の売上が来期繰越しになったこと、新規事業であるバイオ燃料事業の立ち上げに係る営業費用の増大等が影響し、営業損失4億57百万円(前第3四半期連結累計期間は営業損失3億67百万円)を計上いたしました。また、ライセンス・オフリングに関する一時的な費用の発生等により、経常損失6億17百万円(前第3四半期連結累計期間は経常損失3億83百万円)、四半期純損失4億47百万円(前第3四半期連結累計期間は四半期純損失2億48百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は24億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億66百万円増加いたしました。流動資産は14億65百万円となり5億56百万円増加いたしました。主な要因は、前渡金の増加9億51百万円によるものであります。固定資産は9億72百万円となり5億10百万円増加いたしました。そのうち、有形固定資産は54百万円となり13百万円増加いたしました。無形固定資産は7億40百万円となり6億57百万円増加いたしました。主な要因はのれんの増加5億52百万円によるものであります。投資その他の資産は1億77百万円となり1億60百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億91百万円減少いたしました。流動負債は3億93百万円となり3億9百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金の減少2億83百万円によるものであります。固定負債は24百万円となり17百万円増加いたしました。主な要因は、長期未払金の増加15百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は20億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億58百万円増加いたしました。これは、第1四半期連結会計期間中の新株予約権の行使及び第2四半期連結会計期間中のライツ・オファリング（ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て）の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加18億3百万円と当連結四半期純損失4億47百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の48.2%から82.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の連結業績予想は、平成25年12月12日に公表いたしました「平成26年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりとしております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年12月9日開催の取締役会において、平成25年12月25日付にて当社の完全子会社である株式会社上武（以下、「上武」という）の全株式を、当社の持分法適用関連会社である株式会社リアルビジョン（以下、「リアルビジョン」という）へ譲渡することを決議し、同日付で上武の全株式をリアルビジョンへ譲渡いたしました。これにより上武を連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	350,515	56,140
受取手形及び売掛金	274,963	141,530
商品及び製品	13,112	12,265
仕掛品	25,545	91,084
原材料	14,475	14,426
前払費用	44,749	22,013
前渡金	115,514	1,066,714
その他	70,325	61,618
流動資産合計	909,202	1,465,792
固定資産		
有形固定資産	40,533	54,528
無形固定資産		
のれん	39,314	591,398
営業権	27,480	138,333
その他	16,839	11,052
無形固定資産合計	83,633	740,783
投資その他の資産		
関係会社株式	206,625	121,335
その他	131,601	55,927
投資その他の資産合計	338,227	177,262
固定資産合計	462,394	972,574
資産合計	1,371,596	2,438,367
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	26,957	7,672
短期借入金	503,000	220,000
未払金	110,473	85,519
未払法人税等	5,423	9,260
受注損失引当金	17,354	956
賞与引当金	—	28,193
その他	39,237	41,687
流動負債合計	702,446	393,290
固定負債		
資産除去債務	4,779	7,241
繰延税金負債	2,361	2,351
その他	—	15,025
固定負債合計	7,140	24,618
負債合計	709,587	417,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	435,676	1,337,277
資本剰余金	385,562	1,287,163
利益剰余金	△78,595	△526,598
自己株式	△82,980	△82,980
株主資本合計	659,662	2,014,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,588	3,479
為替換算調整勘定	—	1,668
その他の包括利益累計額合計	1,588	5,147
新株予約権	758	—
少数株主持分	—	447
純資産合計	662,009	2,020,458
負債純資産合計	1,371,596	2,438,367



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	905,571	1,100,527
売上原価	751,561	865,396
売上総利益	154,010	235,131
販売費及び一般管理費	521,327	692,315
営業損失(△)	△367,317	△457,184
営業外収益		
受取利息	2,304	913
受取手数料	999	1,625
還付加算金	—	1,143
その他	225	814
営業外収益合計	3,530	4,496
営業外費用		
支払利息	985	5,101
株式交付費	—	101,744
持分法による投資損失	19,068	54,150
その他	—	3,783
営業外費用合計	20,054	164,780
経常損失(△)	△383,841	△617,468
特別利益		
固定資産売却益	—	100
関係会社株式売却益	140,365	158,554
持分変動利益	—	23,583
特別利益合計	140,365	182,238
特別損失		
固定資産除却損	10	392
減損損失	—	5,821
特別退職金	—	1,200
特別損失合計	10	7,413
税金等調整前四半期純損失(△)	△243,486	△442,643
法人税、住民税及び事業税	3,807	4,667
法人税等調整額	1,028	63
法人税等合計	4,836	4,730
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△248,322	△447,374
少数株主利益	—	△152
四半期純損失(△)	△248,322	△447,222

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△248,322	△447,374
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	1,668
持分法適用会社に対する持分相当額	1,131	1,890
その他の包括利益合計	1,131	3,559
四半期包括利益	△247,191	△443,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△247,191	△443,663
少数株主に係る四半期包括利益	—	△152

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社が平成24年11月5日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成25年4月18日の権利行使をもって、当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が70百万円、資本剰余金が70百万円それぞれ増加しております。また、第2四半期連結累計期間において、ライツ・オフアリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)の権利行使により、資本金が8億31百万円、資本剰余金が8億31百万円それぞれ増加しております。その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が13億37百万円、資本剰余金が12億87百万円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。